

〔資料紹介〕梅村豊撮影歌舞伎写真（八）

鎌田 紗弓

梅村豊（1923.6.15－2007.6.5）は演劇出版社の社員として、月刊雑誌『演劇界』用の写真を中心に舞台を撮り続けた写真家である¹⁾。東京文化財研究所無形文化遺産部は2007年度に梅村豊撮影歌舞伎写真の寄贈を受け、撮影期間43年にわたる膨大な白黒ネガフィルムの整理を継続してきた。土田牧子氏・金子健氏・原田真澄氏・筆者によるこれまでの作業から、以下2種のリストの作成・更新が進められている（各報告の内容および書誌情報は、「既刊報告一覧」として後に掲出する）。

〔歌舞伎公演写真ネガリスト〕

被写体を個別に確認するという当初の整理方針にしたがって作成されたもので、ネガ1枚ごとに撮影年月・劇場・演目名・被写体の役名および役者名等を示すリストである。昭和31～53年撮影分のデータベース化が完了している。

〔歌舞伎公演別ネガフォルダリスト〕

寄贈資料の全容把握をいち早く進める目的で作成されたもので、ネガフィルム数十枚を収めるフォルダ毎に、どの公演が何枚程度撮影されているのかという概要を示すリストである。昭和50年代以降の撮影ネガ数と整理状況、白黒ネガフィルムの大部分が時期・劇場を同じくするフォルダにまとめられていることなどをふまえ、2015年度からリスト化を進めている。

ただし、ネガ1枚ごとの被写体の検討に至っていないフォルダについては、「歌舞伎公演写真ネガリスト」の整理が進めば内容の訂正が生じうる。

2017～2018年度は報告（七）に続くフォルダ毎の内容確認を優先し、撮影年月・公演が判明している歌舞伎公演写真ネガのフォルダリスト化を完了した。今回の更新作業により、昭和31（1956）年8月～平成8（1996）年12月に撮影されたことが明らかな1,909フォルダ（ネガ50,966枚）が、「歌舞伎公演別ネガフォルダリスト」としてデータベース化されている。なお、当該期間にはこのほか撮影年月や公演劇場の異なるネガを雑多に収めた116フォルダ（ネガ2,609枚）が確認されているが²⁾、これらは公演別の整理になじまないため「雑多フォルダ」として別途整理した。

いずれも膨大なデータ量となっているため、リスト本体は紙面ではなく無形文化遺産部のホームページ上に公開し、整理作業の進展に伴って更新していく予定である。

既刊報告一覧

1. 土田牧子「〔資料紹介〕梅村豊撮影歌舞伎写真」、『無形文化遺産研究報告』第3号、東京文化財研究所無形文化遺産部、2009年。(梅村豊について、寄贈資料の概要、および昭和30年代前半撮影分写真ネガリスト)
2. 金子健「〔資料紹介〕梅村豊撮影歌舞伎写真(二)」、『無形文化遺産研究報告』第4号、東京文化財研究所無形文化遺産部、2010年。(昭和30年代後半撮影分写真ネガリスト)
3. 金子健「〔資料紹介〕梅村豊撮影歌舞伎写真(三)」、『無形文化遺産研究報告』第5号、東京文化財研究所無形文化遺産部、2011年。(昭和40年代撮影分写真ネガリスト)
4. 原田真澄「〔資料紹介〕梅村豊撮影歌舞伎写真(四)」、『無形文化遺産研究報告』第7号、東京文化財研究所無形文化遺産部、2013年。(新出ネガの追加、昭和30～40年代補遺・昭和50年1月撮影分写真ネガリスト)
5. 鎌田紗弓「〔資料紹介〕梅村豊撮影歌舞伎写真(五)」、『無形文化遺産研究報告』第8号、東京文化財研究所無形文化遺産部、2014年。(ネガ総数の一部訂正、昭和50年2月～11月撮影分写真ネガリスト)
6. 鎌田紗弓「〔資料紹介〕梅村豊撮影歌舞伎写真(六)」、『無形文化遺産研究報告』第9号、東京文化財研究所無形文化遺産部、2015年。(昭和50年11月～昭和51年11月撮影分写真ネガリスト)
7. 鎌田紗弓「〔資料紹介〕梅村豊撮影歌舞伎写真(七)」、『無形文化遺産研究報告』第11号、東京文化財研究所無形文化遺産部、2017年。(昭和54～63年撮影分公演別ネガフォルダリスト)

《注》

- 1) 土田牧子氏による初回報告に、梅村氏の来歴や著作・関連記事一覧が紹介されている。併せて参照されたい。
- 2) その多くは実際に『演劇界』で使うため公演別フォルダから抜き取られ、別にまとめられたものと思われる。

歌舞伎公演別ネガフォルダリスト凡例

本リストは、寄贈された白黒ネガフォルダのうち、撮影年月の明確なフォルダ数・ネガ数の内訳を、公演別に整理して示すものである。

本リストは次の書式で記載する。

上演年月	劇場名	
	上演演目等	
主な出演者		[フォルダ番号] コマ数

- ・配列は上演年月順に並べ、劇場別に記載した。同月・同劇場における一興行内の作品の配列は、原則として上演順とする。ただし、ひとつのフォルダに複数の演目を含む場合は、前後することがある。
- ・撮影年月、劇場、演目名、主な出演の情報は、『演劇界』（基本的に『演劇界』各号末尾に掲載された「資料」）の記載に基づいている。本来は上演時の筋書を参照すべきであるが、資料の総数が膨大であり、時間的制約があったことから、今回は『演劇界』の掲載に従うこととする。ただし、『演劇界』未使用演目のみのフォルダも少なからず含まれている。
- ・主な出演者は、当該演目の主要な役柄を勤める役者の代数および名前を、参考情報として示したものである。被写体の確認を省略している本リストでは、記載した人物が実際には写っていない可能性も考えられる。ただし、「歌舞伎公演写真ネガリスト」における被写体の確認が完了しているフォルダについては、収録ネガに実際に写っている役者を記す。
- ・複数の演目を収めたフォルダで、出演者に重複がない場合（劇場が別であることを含む）、演目・出演者等を「/」で区切ってある。
- ・フォルダ番号は、整理作業において各ネガフォルダに付された4桁の番号である。

Report on *Kabuki* Photographs Taken by UMEMURA Yutaka (8)

KAMATA Sayumi

The Department of Intangible Cultural Heritage has continued to catalogue black and white negative films taken by UMEMURA Yutaka (June 15, 1923 to June 5, 2007), which were endowed to the Department in fiscal year 2007. An outline of the entire collection and UMEMURA's achievements can be found in the initial report by TSUCHIDA Makiko in *Research and Reports on Intangible Cultural Heritage, No. 3*.

UMEMURA was a photographer who worked for Engeki Shuppansha, a theatrical publisher dealing especially with *kabuki*. His photographs appeared mainly in the monthly publication *Engekikai* for as long as 57 years, from the November 1950 issue, the first of the publication after World War II, until the May 2007 issue immediately before his death. He covered a wide range of photographing and the collections also include a significant number of non-*kabuki* negatives, such as stage photos of modern drama, snapshots of actors at interviews and even those featuring stage sets and properties.

Based on the work results in fiscal years 2017 and 2018, a list of 1,909 negative film folders (containing 50,966 negatives) dating between 1956 and 1996 is provided. Continuing on from the seventh annual report, the contents of the negatives are classified folder by folder on the date, venue, and program name of the performance photographed. The list body will be released on the website of the Department for want of space, and updated with the progress.